

第10回鎌倉西地区地域包括ケア研究会を開催しました

平成30年1月31日(水)当院作業療法室にて第10回鎌倉西地区地域包括ケア研究会を開催しました。
”顔の見える関係づくり”の一環として行っている取り組みです。

日頃よりお世話になり近隣で在宅医療をおこなっている医療関係者や地域包括支援センター、居宅支援事業所、薬局、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、民生委員などのみなさん、また、当院のスタッフなど総勢36名の参加となりました。今回は症例検討を行い”在宅生活に困難を抱える高齢者の支援について”をテーマに症例を通して在宅療養へ向けて、各職種が必要と考えることをグループで話し合いました。

ご本人とご家族の想いに寄り添うことについて深く考える機会、それぞれの立場における現状や課題、そして多職種連携の大切さを改めて学びました。次回以降も多職種連携に役立つ内容を企画し、開催していきたいと思っております。



グループワーク

- ①話題提供を受けての感想など。
- ②切れ目のない支援のため、それぞれの職種で取り組みそうなこと。



積極的に意見交換していただきました。

お忙しい中ご参加のみなさま、ありがとうございました。